

1. 事業期間

2017年 6月1日～2018年5月30日

2. 基本方針

くまもと未来創造基金は、社会の課題解決や地域の活性化などの公益活動を支援したい人々と、公益活動を推進する団体等の双方の想いを具現し、資源の仲介を行い、社会を構成するすべての主体が公益を支える仕組みを構築することにより、持続可能で豊かな地域社会の創造と発展に資することを目的として活動します。そのため、熊本県内で活動している市民活動に関わる課題や問題を集約し、解決に向けたセミナーや情報・意見交換ができる場を提供するとともに、活動団体のネットワークを構築し、市民活動をサポートします。社会を構成するすべての主体が公益を支える仕組みの構築、活動団体に仲介・提供するために必要な資源の確保を行います。

また、各地で活動している市民活動団体をはじめ企業・行政・県民等に対して、情報の発信や活動・組織運営に関するノウハウなどの提供を行い、基金への理解と支援者の確保のための活動を行います。

活動初年度である本年度は、熊本地震支援活動に重点を置くとともに、県内・全国に向けて活動の趣旨や内容についての普及啓発活動を行い、公益を支える仕組みの構築基金の創設・そのために必要な資源の確保を行います。

また同時に関係機関と連携して、ファンドレイジング勉強会等学びの場を提供し、団体の課題解決を全面的にバックアップする体制づくりに努めます。さらに、相談・コンサルティング機能を整え、サポート強化を図ります。

特に重点取り組みを以下の3点におきます。

- ① 基金創設の理解と支援体制の構築・必要な資源の確保
- ② 熊本地震支援活動団体のニーズ・課題調査、サポート体制づくり
- ③ 学びと交流事業の確立

3. 事業

- (1) 公益活動を行う団体に仲介・提供するために、公益活動に必要な資金等の資源を募り、確保する事業

【事業名】 1592（ひごくに）応援隊募集

【事業概要】 熊本でたくさんの方が、被災者支援や復興支援活動を展開しています。持続可能な活動にしていくためには、多くの人の協力・資金も大切なことあり、「くまもと未来創造基金」は活動をサポートしていきます。活動に賛同いただける方を募り、熊本元気応援「1592（肥後国）応援隊」として登録・ご寄付をお願いしていきます。目標額1000万。賛同者1592人

【内容】 一口応援団メニュー

- 一口：5,000円メッセージと共に名簿に記載・応援団バッチ
- 一口：10,000円メッセージと共に名簿に記載・応援団バッチ。

大口寄付：名簿・HPに記載。

【賛同者】1,592人（メッセージを同時にお願いしてHP上で公開—賛同者）

冠寄付・事業指定型寄付

【目標額】100万

2017年度目標 5000円100人 10000円50人

【事業名】財団記念シンポジウム

【事業概要】熊本地震後、活発に活動始めた市民活動や災害支援活動から高まった寄付に関する県民の意識をさらに高め、今後迎える課題社会の課題解決に向けて、県民一人ひとりが自分たちで解決する仕組み作りやお金の使い方自分たちの未来を作っていくことに気づいてもらうこと、サポートをする団体として設立した「くまもと未来創造基金」について広く知ってもらうことで、応援する賛同者を募り、共に未来を作る仲間を増やすことを目的として開催します。

【内容】みんなでつくる未来—欲しい未来を熊本へ」

1. リレートーク
2. トークセッション：「みんなでつくる未来—欲しい未来を熊本へ」
（出演者予定）
3. 「くまもと未来創造基金」が目指す未来とは
くまもと未来創造基金の紹介・賛同者募集
熊本暮らし人基金—採択団体発表
アンケート記入・閉会挨拶

【実施日時】平成29年12月17日（日）14：00～17：00

【実施場所】

【対象者】NPO・行政関係者・企業・地域金融機関・関心ある方

【参加目標】80名

【参加費】一般1,000円 会員（賛同者）500円

【賛同者目標】80名

【収入】135,000 【支出】125,000 【収支差し引き】10,000

(2) 公益活動を行う団体に対し、その経営に必要な資源を助成・提供する事業

【事業名】熊本地震災害支援活動助成金「オルビスくまもと未来基金」

【概要】熊本地震災害支援活動団体に活動支援金として助成

【実施期間】第1次：2017年10月1日—20日募集（助成金募集要項に基づく）

11月審査（財団にて設置した第三者機関で審査）

11月（ヒアリング・面接）

12月発表（2017年4月—2018年3月の活動分）

【対象】熊本で活動している支援活動団体（主体は熊本に事務所がある団体）

くまもと未来創造基金で活動サポートを行います。

【収入】寄付金による基金目標320万（予定）

●冠寄付・助成プログラム：寄付者が支援する分野やエリア、助成対象・金額などオリジナルの助成プログラムを設立

●事業指定助成プログラム：助成団体と当財団が共同して寄付集めを行う

●分野別助成プログラム：分野別に行う助成

【収入】405万 【支出】360万 【収支差し引き】45万（事務運営費）

(3) 公益活動を行う団体及び資源提供者に対するコンサルティング事業

【事業】ファンディング勉強会・交流サロン

【事業概要】日本ファンディング協会や認定・准認定ファンレイザーと連携して、ファンディングに関する体系的学び・ファンディング・資金調達力の向上を目的に勉強会を開催します。また同時に個別相談会や交流サロンを開催します。

【目標】

- ① 学びの場の提供
- ② 「くまもと未来基金」賛同者を集める
- ③ 資金調達の専門知識を持った熊本のファンレイザーを2017年10人にする。

（2017年5月必修研修・6月試験）

- ④ 地域の様々な主体との交流サロンを開催

《開催計画》

① ファンディング勉強会（予定）

時期	会場	時間等	内容	備考
6月4日 (日)	熊本県総合福祉センター	13:00~17:00	ファンディング研修	
6月25日 (日)	パレア	13:00~17:00	准認定ファンレイザー試験	
7月		14:00~16:00	助成金獲得	
10月		14:00~16:00	遺贈勉強会	
12月		14:00~16:00	交流会	
2月		14:00~16:00	組織運営・事例報告会	

【収入】330,000 【支出】300,000 【収支差し引き】30,000

②交流サロン

時期	会場	時間等	内容	備考
6・8・10・12・ 2月	事務所・ その他	2時間程度		

【収入】 80,000 【支出】 67,000 【収支差し引き】 13,000

【事業】 熊本地震支援活動団体のニーズ・課題調査 サポート体制構築

【目的】 支援活動団体情報を集積することにより、ニーズの収集と活動団体の現状の把握を行い、助成金事業やサポート事業へ反映させていく他、行政や企業、全国の支援者への企画や連携提案の基盤づくりを行う。

【調査項目】 活動内容 活動場所 連携先 活動課題

【実施時期】 調査 10月 整理・まとめ：11月 報告：12月

【実施方法】 郵送やヒアリングによる調査

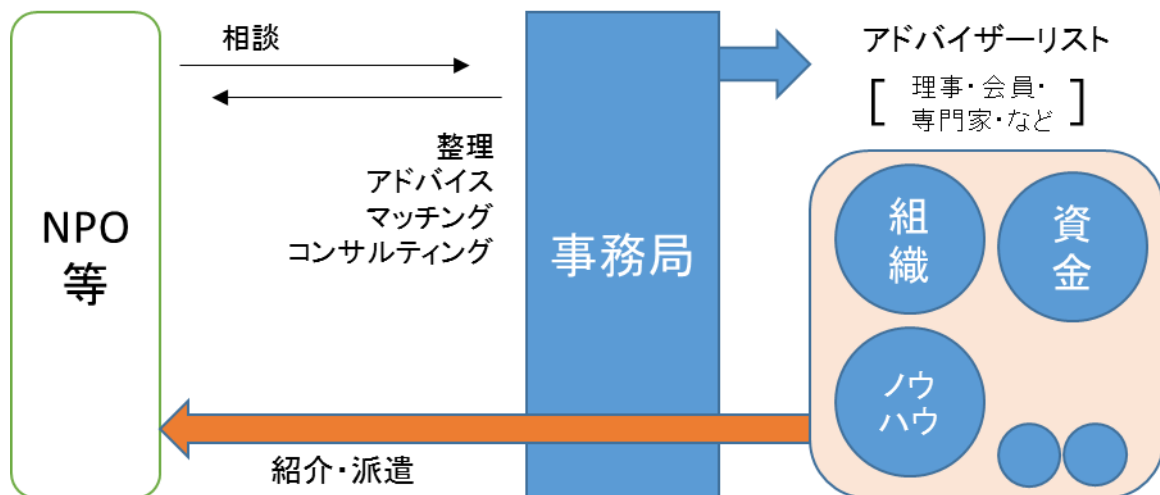
調査データや相談データを整理する。

アドバイザーリストの整理・作成

相談・マッチングの仕組み作り

(相談窓口の整備・相談会の実施・報告書作成)

専門家紹介・派遣の仕組み作り



(5) 公益活動に係る調査研究、情報収集及び情報発信に関する事業

【事業】 情報発信及び広報・普及啓発

【内容】 市民活動の一番にニーズである助成金情報や企業・行政からの情報等様々な情報を活動市民団体に提供するとともに、支援したい市民・県民・企業等に活動団体の情報や社会的課題について発信していきます。

【対象者】市民活動団体・個人・企業・行政等

【配信】HP

メルマガ

FB等SNS

4. 理事会の開催

2カ月に一回（6月、8月、10月、12月、2月、4月）

6月－今年度事業計画・予算状況

8月－進捗状況

10月－進捗状況・次年度事業計画

12月－寄付月間イベント

2月－次年度計画（最終）

4月－今年度事業報告・決算状況 次年度計画・予算

5. 評議員会開催

・2017年6月

・2018年5月